

第4回羽生市タウンミーティング内容（概要）

- 1 開催日時 令和8年9月26日（土）
午前10時開会（午前11時05分閉会）
- 2 会場 中央公民館 多目的ホール
- 3 テーマ 「住民×行政で考える！みんなで話そう“ゴミ”のこと」
- 4 意見交換 担当職員より「3 テーマ」についての説明に続き、
「ゴミに関する意見・感想および課題解決に向けた方法・アイデア」について、参加者との意見交換を行いました。

（1） 資源ごみ収集の日曜日実施について

【市民の意見】

- ・資源ごみの収集が日曜日であるのは羽生市だけだという声がある。
- ・コミュニティを守るため、土日の収集を辞めていただきたい。資源ごみは市で責任を持って収集してほしい。
- ・日曜日は仕事や家庭の用事でゴミを出しづらく、予定も立てづらい。

【市長からの回答】

- ・新住民の方へは場所のお知らせと、地元の方へ自治会ごとのルールを確認していただくよう周知している。市は収集を担っているが、地元の出し方までの調整は難しい部分もあるため、適宜お話を伺っていききたい。
- ・短時間で負担がないよう、8時～10時の2時間を4人でローテーションしている事例などもある。今回をきっかけにしっかりと考えていききたい。

（2） 市のごみ排出量のうち多くを占めるものについて

【市長からの説明】

- ・燃えるごみと枝が多くを占めている。分別が分からない方も多く、資源ごみを燃えるゴミに出してしまうことも要因のひとつであり、分別の周知不足を感じている。
- ・新ごみ処理施設では、ゴミの量に応じて処理費の割合が増加する仕組みとなる。

（3） 燃えないごみ（バッグ、ベルト、人形等）の回収について

【市民の意見】

- ・（羽生市の）イオン2階に回収ボックスがあり資源となる。そうした場所へ持ち込めるようになると、ゴミが減るのではないか。

【市長からの回答】

- ・知らない情報であり、情報提供に感謝する。今後の情報収集と周知に努めたい。

(4) 生ごみ処理機の補助金について

【市民の意見】

- ・生ごみ処理機は、においがなくなり肥料にもなる。現在1世帯1万円の補助金だが、処理機は高額であるため、3万円に増額していただけるとよい。

【市長からの回答】

- ・ニーズには応えていきたいが、現時点での増額は難しい。各自での水切りなど細かい工夫や、コンポストの活用にご協力いただきたい。
- ・補助金申請は年々増加しており、今年度はまだ受付可能であるため、制度を広く周知していきたい。

(5) 新処理施設へのごみ持ち込みおよびごみ袋の有料化について

【市長からの回答】

- ・持ち込み料について：無料から変更なし。
- ・ごみ袋について：有料化ではなく、指定ごみ袋導入の計画があったが、行田市と足並みをそろえる必要があることから時期を見直した。令和10年4月からは今まで通り半透明のごみ袋とするが、今後の方向性として、導入時期は未定ながら指定ごみ袋の計画はある。

(6) 高齢者世帯等のごみ出し支援について

【市民の意見】

- ・高齢化によりゴミを出しに行けない方がいる。介護保険のヘルパーは曜日が決まっており対応が難しい。要介護者や高齢者世帯で周囲の支援が受けられない方へ、週1回でも直接回収を検討してほしい。結果として安否確認のメリットも考えられる。

【市長からの回答】

- ・高齢者の方から、集積場が遠くゴミを出しづらいという話は聞いており、近隣市では導入している例もあるため検討しているところである。
- ・一方で、市の財政状況や受益者負担の観点から、利用料をどの程度とし、どのような形が皆さんの負担が少ないか、皆さんのご意見を聞いていきたい。

(7) ごみの減量化に関するアイディア（コンポスト・ボカシあえ）について

【市民の意見】

- ・コンポストは一般家庭には大きい。「ボカシあえ（※）」で生ごみを処理している。肥料になり、燃えるゴミがほぼ紙のみとなって量が少なくなった。
(※) 家庭で出た生ごみに「EMぼかし（発酵促進材）」を振りかけて混ぜ合わせ、発酵させて作る堆肥の材料

【市長からの回答】

- ・ゴミを減らす情報やアイディアは、ぜひ共有させていただきたい。

(8) 市が直接収集しているごみについて

【市民の意見】

- ・燃えるゴミのみ市が直接収集し、そのほかは業者が収集しているため、祝日に収集できるごみの種類が違うのか。

【市長からの回答】

- ・ゴミはすべて市が収集しており、収集作業を業者へ委託している形である。

(9) ペットボトルのキャップについて

【市民の意見】

- ・ペットボトルのキャップも分別すれば資源となるが、燃えないゴミとして出されている場合が多いのではないか。

【市長からの回答】

- ・市では以前収集していたが、衛生面や選別作業等を比べるとメリットよりデメリットが大きかった。本来はリサイクルにつながる重要な作業である。

(10) 現在の清掃センターの今後について

【市民の意見】

- ・現在の清掃センターは今後どうするのか。市民の持ち込みを前提とした業者へのリース等はどうか。

【市長からの回答】

- ・昭和57年築であり、老朽化が進んだ施設のため利活用は困難と考えている。また、新施設建設における国の補助金を受ける条件の一つに「旧施設の廃止」が義務付けられている。

(11) 燃えるごみ収集の回数について

【市民の意見】

- ・羽生市は週3回だが、他市町村は週2回ではないか。地区では月・水・金が集日だが、水曜日は量が少ない。週2回でよく、その分リサイクルや資源回収に当ててほしい。
- ・一方で、週3回で助かる場合もある。祝日に収集してもらえらば週2回でもよいのではないか。

【市長からの回答】

- ・収集日が減ることで、ゴミを減らす意識が高まる可能性がある反面、対応が難しい世帯があることも理解している。

(12) 祝日のごみ収集について

【市民の意見】

- ・祝日の収集日が毎回ないことについて改善できないか。

【市長からの回答】

- ・しっかりと検討していく。

(13) 他市の先進企業におけるペットボトルリサイクルについて

【市民の意見】

- ・他市の企業だが、全国の自治体からペットボトルを回収し再生している企業がある。

【市長からの回答】

- ・情報提供に感謝する。より良い技術を参考にしながら取り入れていきたい。

○今後の方向性

- ・ゴミの処理費は年々増加しており、施設の維持費を含め年間１１億円がかかっている。市民１人当たりのゴミの量は９１６ｇとなっており、これをスリム化して新処理施設へ移行していきたい。
- ・市民の皆様にとって最も負担の少ない形を検討するため、様々な方から意見をいただき、安心して暮らせるサポートを行う。
- ・より良いゴミ出しのルールや代替案があれば積極的に取り入れていく。ルールを変更する際は、皆様の意見をしっかりと聴取し、多くの方に納得いただける形をとる。